

令和5年8月
市川市教育委員会 定例会 会議録

市川市教育委員会

令和5年8月市川市教育委員会 定例会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月3日（木）午後2時00分開議
- 2 場 所 市川市生涯学習センター 第2研修室
- 3 日 程
 - 1 開会
 - 2 会議成立の宣言
 - 3 議事日程の決定
 - 4 議案第27号 令和6年度使用教科用図書採択について
 - 5 閉会
- 4 本日の会議に付した事件
 - 1 議案第27号 令和6年度使用教科用図書採択について
- 5 出席者

教育長	田中	庸惠
委員	山元	幸惠
委員	島田	由紀子
委員	大高	究
委員	広瀬	由紀
委員	田中	大介
- 6 出席職員、職・氏名

教育次長	小倉	貴志
生涯学習部長	板垣	道佳
生涯学習部次長	後藤	貴志
学校教育部長	藤井	義康
学校教育部次長	池田	淳一
教育総務課長	樋口	智昭
教育施設課長	小山松	健
社会教育課長	宮本	隆之
中央図書館長	安永	崇
考古博物館長	杉山	元明
義務教育課長	城戸	三郎
学校環境調整課長	小笠原	勝海
指導課長	富永	香羊子
就学支援課長	日暮	真司

保健体育課長
学校地域連携推進課長
教育センター所長
指導課指導主事

関原 一久
榎本 弘美
横田 礼名
16名

7 事務局職員、職・氏名

教育総務課 主 幹
// 副主幹
// 主 査

須志原 みゆき
岩瀬 絢子
木下 堯

○教育長

それでは、ただ今から、令和5年8月定例教育委員会を開会いたします。傍聴人の皆様をお願いいたします。お渡しいたしました傍聴券に記載されております、傍聴人の遵守事項を守っていただき、傍聴されますようお願いいたします。本日の会議は、教育長及び委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により成立しております。この定例会の会期は、市川市教育委員会会議規則第3条第2項の規定により、本日1日といたします。本日の審議案件は、議案1件でございます。日程に従い議事を進めます。

はじめに、「会議録署名委員の指名」を行います。市川市教育委員会会議規則第39条の規定により、会議録署名委員は、大高究委員、広瀬由紀委員を指名いたします。どうぞよろしくをお願いいたします。続いて、議事の進行を行う委員の指名を行います。市川市教育委員会会議規則第31条の2の規定により、教育長において、山元幸恵委員を指名いたします。山元幸恵委員、お願いいたします。

○山元幸恵委員

かしこまりました。それでは、「議案」に入ります。議案第27号「令和6年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。それでは、提案理由の説明を求めます。

○指導課長

指導課長でございます。議案第27号「令和6年度使用教科用図書の採択について」ご説明いたします。公立学校の教科用図書の採択権限は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号に定められているとおり、市町村教育委員会にあることから、令和6年度に使用する小学校用教科用図書、中学校用教科用図書、特別支援学校用及び特別支援学級用教科用図書の採択について議決を求めらるものでございます。教科書採択の公正確保につきましては、千葉県教育委員会から以下の点について指導がございました。1つ目として、採択権者の権限と責任において適正かつ公正に行う必要があり、外部からの不当な影響に左右されないこと。2つ目として、教育委員会会議の適切な審議環境を確保し、公開で行う場合には、傍聴のルールを明確に決めておくことなど、適切な採択環境の確保に努めなければならないこと。3つ目として、教科書発行者の宣伝行為についてもその実態を把握し、事前に適切な対策を講じること。4つ目として、過大な宣伝行為、その他外部から不当な影響等により採択の適正・公正の確保に関し問題が生じた場合には、採択権を有する者において適切な措置を講ずるとともに、速やかに千葉県教育委員会に報告すること。以上が指導の主な内容でございます。本市の教科用図書の採択につきましては、市川市・浦安市の二市で構成する葛南西部採択地区協議会で、同一の教科用図書を採択することとなっております。本日まで、両市による採択地区協議会が、5月25日、7月14日、7月19日の3回開催されました。第2回及び第3回採択地区協議会におきましては、市川市、浦安市の子どもたちにとって、適切な教科書を選定するため、研究調査委員の報告をもとに、市川市、浦安市の協議会委員による議論を経て選定いたしましたことをご報告させていただきます。また、教科書採択が公正に行われるよう、静ひつな環境を保

つため、採択業務が終わる8月31日まで、採択事務は非公開で行わせていただいております。しかし、市教委員会では、教科書採択の様子を傍聴していただくことで、教科書採択への理解を深めていただくために、本日の会議を公開します。教科書採択に係る資料は、本年9月1日以降、中央図書館、行徳図書館等にて閲覧できます。本会の採択に係る具体的な協議内容でございますが、3点ございます。1つ目として、小学校用教科用図書は、小学校用教科書目録（令和6年度使用）に登載されている教科書のうちから採択すること。2つ目として、中学校の教科用図書は、学校教育法附則第9条図書を使用する場合を除き、基本的に令和4年度に採択したものと同一の教科用図書を採択すること。3つ目として、特別支援教育につきましては、学校教育法附則第9条の規定による一般図書における新規本4冊についての協議を行います。また、使用する児童生徒の実態が多様であり、各学校で児童生徒の実態に応じた選択を可能とするため、特別支援教育で使用する教科用図書として、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書、点字版教科書及び拡大教科書、学校教育法附則第9条の規定による一般図書を一括して選定について諮ることとなっております。それでは、本年度採択についてご審議をお願いする小学校用教科用図書と特別支援学校用及び特別支援学級用教科用図書から、ご説明させていただきます。お手元の議案、令和6年度使用教科用図書の表1及び表3をご覧ください。小学校13種目と特別支援教育をあわせると、14の種目があることから、3から4種目ごとに4回に区切りながら、ご説明させていただきます。1回目は、国語・書写・社会・地図を、2回目は算数・理科・生活を、3回目は音楽・図工・家庭・保健を、4回目の説明は、外国語・道徳・特別支援教育を説明させていただきます。なお、各教科の質疑の回答につきましては、主にそれぞれの指導主事よりお答えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、はじめに国語について報告いたします。国語は3社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、教育出版の「ひろがることば 小学国語」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。各領域のどの単元も「見通す」「取り組む」「ふり返る」で構成されており、初若年層の教員でも学習の内容、指導する項目が把握しやすくなっています。各学年に作家からの言葉が掲載され、読書への親しみを持たせる工夫がなされています。続きまして、光村図書です。各単元に「問いをもとう」として、単元全体で考える「問い」が示されており、指導事項を明確にして学習を進めることができます。巻末には「言葉の宝箱」として1年生から6年生まで語彙を豊かにするための工夫がなされています。最後に、選定されました教育出版です。選定の理由といたしましては、学習指導要領への対応では、教材ごとに指導事項に応じて、学習過程が提示されており児童が見通しをもって主体的に学べるようになっていきます。また、単元で重点的に学習する指導事項についてわかりやすく書かれており、言語活動の見本も記載されているので、児童にも教員にも使いやすい作りとなっております。主体的・対話的で深い学びの実現のために、対話の場面や協働的に学習する場面が教科書の中で描かれており参考にしながら学習を進めることができます。読書に関する単元が

学年ごとに設定され、物語の学習の後に本を紹介する単元や、「図書推薦会」や「お話動物園を作ろう」など、読書への関心を高める工夫がされています。以上のことから、教育出版の「ひろがることば 小学国語」を選定いたしました。

次に、書写について報告いたします。書写は3社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、教育出版の「小学 書写」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。対話的な学習を促す設問が設定されており、学習事項のポイントを示した「書写のかぎ」につなげることで、主体的・対話的な学びができるように工夫されています。また、整っている字等を比較することでポイントがつかみやすくなっております。続きまして、光村図書です。始筆、送筆、終筆の筆使いをイラストで示し、児童がイメージしやすいように工夫されています。また、学習の参考となる動画や写真など豊富な資料が用意され、学びが深まるようになっております。最後に、選定されました教育出版です。選定の理由といたしましては、まず、書写の学習を始める際に、「学習の動機づけ」や「学習の進め方」が丁寧に示され、自ら学びたくなる場面が教材化されております。また、1年の鉛筆の持ち方、3年の筆の持ち方など、よい姿勢、よい鉛筆の持ち方を定着、習慣化できるような教材が設定されており、左利きへの配慮がされた掲載もございます。さらに、身につけた書写の力を、学習活動の「どの場面で」生かせるのかがすぐわかる教材が豊富に掲載されております。国語科だけでなく、他教科との関連教材や日常生活に繋がるような教材を各学年に位置付けており、教科横断的な学習が充実するよう配慮されています。以上のことから、教育出版の「小学書写」を選定いたしました。

次に、社会について報告いたします。社会は3社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、東京書籍の「新しい社会」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、教育出版です。学習指導要領への対応では、「社会的な見方・考え方」を働かせた学び方を例示するとともに「つかむ、調べる、まとめる、つなげる」により、問題解決的な学習が進められるよう配慮されています。内容については、「学びのてびき」が、学習活動の流れに即して適宜設けられていて、学習を進めていく上で必要な技能を系統的に習得できるようになっています。続きまして、日本文教出版です。学習指導要領への対応では、子どもたちが素朴な疑問を話し合う場面から学習が始まるなど、言語活動を重視した問題解決的な学習過程により、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように配慮されています。内容については、小单元ごとに「学習の計画」を示し、児童が学習問題の解決に向けて、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されています。最後に、選定されました東京書籍です。選定の理由といたしましては、学習指導要領への対応では、「社会的な見方・考え方」を3つの視点と方法に分けて提示するとともに、問題解決的な学習の進め方を見やすく例示するなど、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程に配慮されています。さらに、「生かす」というページを設定し、

よりよい社会のために課題解決の方法を選択・判断しようとする態度が育めるよう配慮されています。内容については、前学年及び当該学年の学習内容を掲載して、系統性を持たせています。造本については、他の2社が全学年で合本構成なのに対し、東京書籍では5・6年が分冊構成となっており、持ち運びの面でも使いやすくなっていると考えます。以上のことから、東京書籍の「新しい社会」を選定いたしました。

次に、地図について報告いたします。地図は2社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、帝国書院の「楽しく学ぶ小学校の地図帳3・4・5・6年」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。内容がコンパクトにまとめられており、高学年になっても活用がしやすい構成となっております。また、教科横断的な取扱いができるような工夫もあります。造本の観点としては、地名の文字に、すべて白の縁取りがしてあり、文字がくっきりとしています。また、土地の高さは陰影をなくした明るい色合いで表現されています。最後に、選定されました帝国書院です。選定の理由といたしましては、内容が整理され、学年別・目的別に活用しやすくなっています。使い初めの3年生に配慮した地図の掲載が豊富であることが大きな特徴です。また、教科横断的な視点で長い期間にわたり繰り返し使用することを前提とした工夫がなされています。造本の観点では、文字に独自開発したユニバーサルデザイン書体を使用しています。また、立体感のある地図表現で地形の様子が捉えやすくなっています。以上のことから、帝国書院の「楽しく学ぶ小学校の地図帳3・4・5・6年」を選定いたしました。

○山元幸恵委員

ご説明ありがとうございました。以上で説明は終わりましたが、この教科等について質疑はございませんか。どなたかご質問ございますか。大高委員お願いします。

○大高究委員

社会についてお聞きしたいのですが、3社とも最終的に「問題解決的な学習」という言葉が並んでおりますが、最後のまとめ方ということについては各社の特徴はいかがなものなのでしょうか。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（社会）

社会担当です。ただ今のご質問、学習のまとめにつきまして説明いたします。教育出版は、キーワードを活用し、基本的な知識の定着が図られるようにしております。日本文教出版は、話し合い活動やさらに考えたい問題の追及を通して自己の考えを深めることができるようにしています。東京書籍は、文章でまとめる・討論する・説明するなどの言語活動を軸にした多様な表現活動を通して、思考力等が育まれるような工夫が見られました。以上でございます。

○山元幸恵委員

以上で説明は終わりましたが、大高委員、いかがでしょうか。

○大高究委員

ありがとうございます。続いてよろしいですか。地図について質問したいのですが、選定された帝国書院は「3年生に配慮した地図の掲載が豊富」とありますけれども、その点についてもう少し詳しくご説明をお願い致します。

○指導課指導主事（地図）

地図担当です。ご質問についてお答えいたします。帝国書院の「3年生に配慮した地図」の部分でございますが、表記されている要素が、主要な地名等に絞られた日本各地の地図が10ページにわたり掲載されております。そのため、使い始めの3年生にとって、とても見やすい地図となっております。以上でございます。

○山元幸恵委員

以上ですが、いかがでしょうか。

○大高究委員

ありがとうございます。

○山元幸恵委員

よろしいでしょうか。他にございますか。それでは、私から1点質問いたします。国語に関してです。国語について、教育出版を選定とご説明がありました。その中で、児童が見通しを持って主体的に学べるようになっており、非常に児童にも教員にも使いやすいというご説明がありましたが、具体的にどの点が活用しやすいのか、学べるようになっているのかご説明をお願い致します。

○指導課指導主事（国語）

国語担当です。ただ今の質問にお答えいたします。「学習の進め方」の部分に単元の初めからゴールまで学習の道筋が明確に書かれており、見通しを持って学ぶようになっております。また、それぞれの学習の過程の中で、順を追って課題や見本が例示されていたり、児童の思考の参考になるようなものが吹き出しで表されていたりするなど、主体的に学べる工夫がなされております。以上となります。

○山元幸恵委員

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。他に質疑が無いようですので、続けて算数・理科・生活の説明をお願いいたします。

○指導課長

それでは、算数について報告をいたします。算数は6社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、啓林館の「わくわく算数」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。主体的・対話的な問題解決の過程を重視した数学的活動を行う「今日の深い学び」が設定されています。解決の見通しを持ち論理的に考え、判断した過程や結果について数学的表現を用いて表し、伝え合う学習が可視化されています。単元の導入にはQRコンテンツのオープニングムービーで動機づけが行えます。続きまして、大日本図書です。各単元の主要な時間を「じっくり深く学び合おう」と位置付け、協働的な学びや主体的で対話的な学びの様子を写真やイラストで示しイメージが持てるように工夫されています。「算数の大切な考え方」では、意識させたい数学的な見方・考え方がまとめられ、活用しや

すくなっております。続きまして、学校図書です。「はてなを発見」を用いて課題意識を持たせることから始まり、学習したことから生まれる「つながりのはてな」を設けることで、問題解決型学習の充実が図られています。「学びの地図」や「考え方モンスター」では、数学的な見方・考え方を振り返り、深い学びができるように工夫されております。続きまして、教育出版です。問題発見・解決・追究の過程を「はてな」「なるほど」「だったら」で表現しています。子どもの問いの連続によって、学びを広げ、深められるように工夫されています。巻頭にはこれまでに使ってきた数学的な見方・考え方が取り上げられ、「つながるミカタ」で活用できるように構成されております。続きまして、日本文教出版です。「自分で みんなで」と題した学習では、課題把握・自力解決・集団解決・まとめと練習で構成され、問題解決の過程が見えるようになっています。学習の流れが分かりやすくなるように「めあて」と「まとめ」が明示され、「めあて」の近くには「見方・考え方」として学びの着眼点も示されております。最後に選定されました、啓林館です。選定の理由といたしましては、日常の事象や既習内容を主問題として設定し、全ての時間には「めあて」とそれに対応した「まとめ」がわかりやすく示されており、吹き出しには、めあてにつながる問いや見通し、着目すべきポイントがあることで、主体的に取り組めるよう工夫されています。数学的活動を通して思考力を育成できるよう「見方・考え方を深めよう」が設定され、問題解決の際に有効な見方や考え方、図や表などが取り上げられております。全体的に、指導者にとっても扱いやすく、系統性をもって問題解決能力を育成できるように工夫されています。以上のことから、啓林館の「わくわく算数」を選定いたしました。

次に、理科について報告いたします。理科は5社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、大日本図書の「たのしい理科」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。児童の思考の流れが矢印と図形で示されており、主となる学習活動が1段組みになっているため、視覚的に情報を受け取りやすいレイアウトになっています。続きまして、学校図書です。学習内容をより深く、多面的に理解するために、身近な場面について学んだことを活用して説明する活動が「ふりかえろう」のページに位置付けられているのが特徴的です。続きまして、教育出版です。各学年で身につけたい理科の見方・考え方に関するマークが設定されており、実験についての予想や考察を導き出すきっかけとなる発問が示されています。続きまして、啓林館です。学習単元の導入から、結論までの思考の過程が整理されており、結論の後に新たな問題を考える活動があり、児童が主体的に学びへ取り組めるような、つくりになっています。最後に、選定されました大日本図書です。選定の理由といたしましては、学習単元の導入において、生活に密接した事象や現象について見開きのページを使って紹介しています。児童が主体的に問題を捉えられるような工夫と、学んだことが実生活においてどのように役立っているのかに触れた読み物資料が大変豊富です。理科の有用性を実感させることで、理科に対する興味関心を高め、学び続けることの大切さに気付かせ

ようとしています。以上のことから、大日本図書の「たのしい理科」を選定いたしました。

次に、生活について報告いたします。生活は6社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、大日本図書の「新版 たのしい せいかつ 上 だいすき」「新版 たのしい せいかつ 下 ひろがれ」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。学習活動に応じて、具体的な掲示物や板書例などの環境構成を例示したり、言語活動を通して気付きの質が高まる姿を具体化したりすることで、深い学びの過程を示しています。続きまして、学校図書です。ページ見開きをひとつの活動単位とし、子ども同士の学び合いの場面を意識したり表現活動を中心に他教科との関連が図られたりしています。続きまして、教育出版です。多様な活動や体験を通じて、「自分との関わりで対象を捉え、思いや願いを実現しようとする」視点を「はってん」コラムとして理科や社会科へのつながりを具体的に示しています。続きまして、光村図書です。全ての小単元に「学び方のヒント」を設定し、つまづいたときや試行錯誤するときには大切になる考え方や表現のバリエーションのヒントを示し、学習活動が持続的・発展的になるように工夫されています。続きまして、啓林館です。紙面の適所に「学びのキーワード」として見つける、比べる、たとえば、試すなどの気付いたことを基に考えるための多様な学習活動の例を示し、気付きの質を高めることができるよう工夫されています。最後に、選定されました大日本図書です。選定の理由といたしましては、単元の導入では、ダイナミックな写真を用いて、児童の主體的な活動が始まるような工夫が見られました。言語能力を育むために他教科との関連を示し、発展的な学習ができるように工夫されています。「学習の道具箱」「せいかつことば」などを設定し、児童の興味・関心に応じた資料が豊富に掲載されており、確認したり、振り返ったり、学習を深めたりできるように配慮されています。以上のことから、大日本図書の「新版 たのしいせいかつ 上 だいすき」、「新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ」を選定いたしました。

○山元幸恵委員

ご説明ありがとうございました。では、質疑に入ります。質疑はございますか。田中委員お願いいたします。

○田中大介委員

私から1点、算数についてお伺いしたいと思います。各社、「めあて」とか「まとめ」「はてな」「なるほど」「だったら」などの視点を提示して教科書を作成されているように思いました。このような視点は、各社それぞれ、前回と変えて工夫して作成されているのか、もしわかればご説明願います。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（算数）

算数担当です。田中委員のご質問についてお答えいたします。各社とも、問題解決の過程で働かせる数学的見方・考え方が可視化できるように工夫されてお

り、レイアウト等については、それに合わせて各社とも対応しておりますので、多少変更等が入っております。以上になります。

○山元幸恵委員

以上ですが、よろしいでしょうか。

○田中大介委員

はい。それに関連して1学年から6学年までの連続性や積み重ねという観点から、全く同じではなくとも、ある程度、視点がぶれない方が良いのではないかと
いった考えもあるかと思ったのですが、それについて検討やお考えがあれば教えて
いただけるとありがたいと思います。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（算数）

ただ今の質問についてお答えいたします。同じ視点やレイアウトで学べること
については、連続性・系統性からも子どもにとっても戸惑いがないものと考えら
れますが、各社とも数学的活動を通して主体的に学習が進められるように工夫が
多くされているため、学習に対する影響は少ないものと思います。

○山元幸恵委員

以上ですが、よろしいでしょうか。

○田中大介委員

ありがとうございました。

○山元幸恵委員

ほかにご質問ございますか。島田委員お願いいたします。

○島田由紀子委員

私からは生活の教科書についてお伺いさせていただきます。選定された教科書は、
「ダイナミックな写真を使っているということや、児童の主体的な活動が始まる
ような工夫が見られた」ということが先程の説明にありましたが、子どもにとっ
て、思考する力が深まって広がるような工夫が、この教科書には具体的にはどの
ような点が見られたのか、もう少し詳しくご説明いただいてもよいでしょうか。

○指導課指導主事（生活）

生活担当です。島田委員からのご質問にお答えいたします。他教科との合科的、
そして関連的な学習活動例が示されたということは先程の説明の中にありまし
たが、そのほかにも、「学習の工具箱」等では安全・防災・防犯・SDGs、地域と連
携する場面が示されたりすることによって、生活科の活動の中で児童が実感を持
って考えることができるよう工夫されております。また、教科書の後ろには別冊
があり、学び方や単元に則した多様な資料があり、個の目的に応じて活用するこ
とができます。以上でございます。

○山元幸恵委員

以上で説明は終わりましたが、いかがでしょうか。

○島田由紀子委員

ありがとうございます。

○山元幸恵委員

よろしいですか。他にはいかがですか。では、私から、算数と理科について1つずつ質問させていただきます。算数で選定された啓林館の教科書について、実物を見たところ、他社に比べて学習内容の配列等に特徴があるように感じましたが、どのように判断されているかご説明をお願いいたします。

○指導課指導主事（算数）

算数担当です。ただ今の質問についてお答えいたします。配列が異なる学習の内容の一つに、5年生の「面積」があります。面積を考える際は直角三角形から導入し、一般の三角形、平行四辺形へと展開することは、三角形をもとにほかの図形を考える数学的な見方・考え方を活用できるようになります。また、3年生には分数と小数の学習が入っており、分数を先に取り上げるとは、目的に応じて単位を調整する経験をもとに、次の小数の学習に取り組みさせることで、1の10等分を単位とするよさを感じ取りやすくなっております。

○山元幸恵委員

ありがとうございます。では、配列が違うということは、決してデメリットではなく、メリットであると考えてよいでしょうか。

○指導課指導主事（算数）

はい。今後の学習においても有効であると考えております。

○山元幸恵委員

わかりました。ありがとうございます。それではもう1点、理科について伺います。理科は、子どもたちが「どうなっているのだろう」と疑問を持って実験、観察に取り組み、結果についてもわくわくする気持ちを持って取り組めることが、特に理科においては重要であると考えます。そのような工夫が各社あると思いますが、どのようになっているか、特に大日本図書は対応できているのかご説明をお願いいたします。

○指導課指導主事（理科）

理科の担当です。5社とも理科の学びの過程に則したつくりになっております。例えば、単元の導入において、科学的事象と出会う場面では、大きな写真を使うことで児童が興味を持ったり、「どうしてだろう」と考えたくなったりするような工夫がされています。また、見開きのページでは、観察や実験の結果がわからないように構成されております。大日本図書については、実生活に身近なものが多かった点が、他社と比べて配慮が行き届いていると判断いたしました。以上でございます。

○山元幸恵委員

わかりました。ありがとうございます。他にご質問ございませんか。それでは、次の音楽・図画工作・家庭の説明をお願いいたします。

○指導課長

それでは、音楽について報告いたします。音楽は2社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、教育芸術社の「小学生の音楽」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、教育出版です。発問例や学習内容が「まなびナビマーク」により

示され、知識の習得や、「思考力、判断力、表現力等」の育成につながるよう工夫されています。教材には、他教科との関連や、全学年での取り組みを図れるような曲も設定されています。最後は、選定されました教育芸術社です。選定の理由といたしましては、表現と鑑賞を関連付けた題材構成となっており、学びがつながり、深まるように工夫されています。また、どの題材においても、ねらいがわかりやすく具体的に示されています。それぞれの教材では、「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力の育成につながるような学習活動の例が示されているほか、吹き出しにより、学習のための適切な情報が示されています。また、各学年、生活や社会の中の音や音楽との関わりを意識した学習活動が設定されています。以上のことから、教育芸術社の「小学生の音楽」を選定いたしました。

次に、図画工作について報告いたします。図画工作は2社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、開隆堂出版の「図画工作」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、日本文教出版です。児童が、見通しを持って取り組めるように、「学習のめあて」「表現のヒント」「鑑賞のヒント」「ふりかえり」の4つの投げかけを示すことで、「主体的・対話的で深い学び」へ導く紙面構成となっております。子どもたちが実際に活動している姿を多く記載し、児童の表現する力の育成が図られるような配慮がなされております。最後は、選定されました開隆堂出版です。選定の理由といたしましては、主として育てたい資質・能力を朱書きすることで、学習のポイントや造形的な見方・考え方を児童にわかりやすいように伝えていきます。また、題材ごとに「学習のめあて」と対応して終末に設けた「ふりかえり」を活用することで、育てたい資質・能力に沿って学びの充実がさらに図れるような配慮がされております。以上のことから、開隆堂出版を選定いたしました。

次に、家庭について報告いたします。家庭は2社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、開隆堂出版の「わたしたちの家庭科5・6」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。自分自身の生活を見つめ、発見した課題を自分なりに解決したり、学んだことをまとめて発表したりする展開で学習が進められ、各題材で習得した知識・技能を組み合わせながら生活に生かせるようになっております。最後は、選定されました開隆堂出版です。選定の理由といたしましては、各題材の導入時に「学習のめあて」を提示して見通しを持たせるだけでなく、学習の終わりにそのめあてについてセルフチェックを行うことで、自らの学習を振り返るなど、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度が育まれるようになっております。また、調理や製作の実習場面では、手順が横並びに示されており、全体の流れが見やすくなっております。だれもが迷わず、ポイントを押さえながら実習を進めることができるなど、日常生活に必要な知識・技能を、スモールステップで習得できるよう、工夫されております。以上のことから、開隆堂出版の「わたしたちの家庭科5・6」を選定いたしました。

次に、保健について報告いたします。保健は6社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、大日本図書の「たのしい保健」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、東京書籍です。自分自身の生活の課題や解決方法を見つけ、主体的・対話的で深い学びとなる授業ができるように工夫されております。また、紙面にQRコードを配置し、動画やデジタルコンテンツを豊富に取り入れております。続きまして、大修館書店です。イラストに吹き出しが多く、場面を想像しやすくする工夫がされています。まとめでは、QRコードを読み取ると、保健クイズに挑戦でき、楽しみながら振り返りができます。続きまして、文教社です。イラストや写真が大きく見やすくなっています。学習のまとめでは、「もう一歩先の自分へ」という題目で実生活に結び付けられるようにしたり、チェックリストを記載したりして、工夫されています。続きまして、光文書院です。5つのステップで、学習内容が明確に示されており、発展学習も同じ流れで進めることができます。他教科、他領域、他学年との学習の関連が示されており、系統的に学習をすることができます。続きまして、学研です。写真やイラストから学習意欲を高めるような工夫や、学習したことを家庭や地域で確かめるなど、自分の生活様式を振り返るような工夫がされています。最後に選定されました大日本図書です。選定の理由といたしましては、ほとんどが一単元、見開き2ページで構成されており、学習内容が精選され、必要に応じた補充資料も掲載されています。また、より生活に根差した身近な出来事からの導入を取り入れており、主体的・対話的で深い学びを促しています。他教科との関連が示され、教科横断的に学習を進めることができます。以上のことから、大日本図書の「たのしい保健」を選定いたしました。

○山元幸恵委員

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ございますか。大高委員お願いいたします。

○大高究委員

保健について2点お伺いします。最終的に大日本図書が選ばれたようではありますが、他社と比べて特に優れている点がわかりにくかったので、もう少し選定理由を詳しくご説明いただきたいと思います。また、性教育について、近年、性の多様性がクローズアップされていますが、このテーマについて、各社どのように記載されているのか伺います。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（保健）

保健担当です。ただ今のご質問についてお答えいたします。まず、大日本図書を選定した理由についてですが、使いやすさの観点で選定いたしました。見開き2ページで学習することができ、他社に比べて内容が精選されており、詳しく学習することができます。次に、性の多様性の観点では、個人差については各社記載があります。性の多様性に関しては、3・4年生の「心身に現れる変化」の単元に記載されております。東京書籍では「多様性以外にも色々な性のものさしがあ

る」、大日本図書では「同性の人が気になることがある」、文教社では「服装や色など、好みや考え方はその人によって違う」、光文書院では「異性に関心が持てないと感じる人がいるかもしれない」、学研では「ほかの人との違いが気になったり不安になったりする」、大修館書店では「異性をあまり強く意識しない人がいる」と表現の仕方は様々です。選定した大日本図書は、より具体的に記載されておりますので、児童にとってわかりやすくなっております。以上でございます。

○山元幸恵委員

説明が終わりましたが、いかがでしょうか。

○大高究委員

よくわかりました。

○山元幸恵委員

他に質疑ございますか。広瀬委員お願いいたします。

○広瀬由紀委員

図画工作について1点質問いたします。2社の教科書とも写真が多く、実例がたくさん載っており、児童の発想や構想の手掛かりになるものと感じました。その内容や載せ方について2社の違いはどのような点があるか教えていただければと思います。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（図画工作）

図画工作担当です。ただ今いただきましたご質問についてお答えいたします。両社とも写真を多く配しまして、児童の思考や発想の手立てになるような紙面構成となっております。特徴といたしましては、日本文教出版では、児童自らが表したいことや作りたいものを見つけられるよう、完成作品や児童の活動している写真を多く示された紙面構成で、主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がされております。開隆堂出版は、児童同士がかかわりあう姿が多く示された紙面構成となっております。主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されているのが特徴です。以上でございます。

○山元幸恵委員

いかがでしょうか。

○広瀬由紀委員

ありがとうございました。

○山元幸恵委員

よろしいですか。他にございますか。島田委員お願いいたします。

○島田由紀子委員

音楽について質問いたします。学校教育で日本の音楽や和楽器に触れることがあるかと思いますが、学校教育を離れると日本の特有の音楽や和楽器に触れる機会が少なくなっている中で、選定された教科書において、どのように日本の音楽や和楽器を取り扱っているのかについて、ご説明をお願いいたします。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（音楽）

音楽担当です。先程のご質問についてお答えいたします。選定された教育芸術社では、3年生の教科書で祭囃子を取り上げており、その中で締太鼓に触れられるようになっております。また、4年生で、「さくら さくら」を琴で演奏できるように設定されており、高学年では琴と尺八の演奏を鑑賞できるように設定されております。

○山元幸恵委員

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○島田由紀子委員

ありがとうございます。家庭の教科書についても質問させてください。日々の生活に直接関わりのある科目であると思いますが、道具の説明や調理、製作の説明について、教科書によって違いはあったのでしょうか。そのことについて、もう少し説明をお願いしたいと思います。

○山元幸恵委員

お願いします。

○指導課指導主事（家庭）

家庭担当です。ご質問についてお答えいたします。どちらも使用する道具や手順の内容について、写真や絵を用いて解説するなど、児童が困らないようになっております。東京書籍は、使用する道具や作業の手順が一覧できるようまとめてあり、児童が安心して調理や裁縫が行えるよう工夫されております。開隆堂出版は、吹き出し等で疑問を投げかけ、児童にその理由を考えさせたり、作り方のポイントを明示したりと、実習を通して資質能力の向上ができるよう工夫されております。

○山元幸恵委員

いかがでしょうか。

○島田由紀子委員

具体的な説明をありがとうございました。

○山元幸恵委員

他に質疑ございますでしょうか。それでは、続けて外国語・道徳・特別支援教育のご説明をお願いいたします。

○指導課長

それでは、外国語について報告いたします。外国語は6社が教科用図書の検定本となっております。採択地区協議会では、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に開隆堂出版です。他教科に関連した活動や児童に異文化への理解を促す配慮が盛り込まれており、児童・指導者双方が他教科や異文化との関連を意識し学習を進められるような構成となっております。続きまして、三省堂です。学年で3つの大きな言語活動の目標が設定される、大単元構成となっております。その中にある各単元で目標、プロセス、ポイントが分かりやすく示されており、児童がそのゴールを見通して学習を進められる工夫がさ

れております。続きまして、教育出版です。各単元では映像を見る活動から入り、徐々に音声を聞いて慣れ親しむ活動へと移り、最終的にコミュニケーション活動へつなげていく単元構成となっております。各単元の末には「ふりかえり」があり、自己評価できるような工夫もされております。続きまして、光村図書です。「学年の目標」を設定し、各学年を3つに分けて段階的なテーマを設けることで、児童にとって学習の目標を明確にして進めることができるような工夫がされております。続きまして、啓林館です。見開き2ページを「新出単語」「リスニング教材」「チャンツ」「まとめの活動」の4つで構成しております。他教科と連携しやすい内容や今日的な教育課題を取り扱っており、指導者の計画により幅広い学習が可能となっております。最後に選定されました東京書籍です。選定の理由といたしましては、見通しを持って単元の学習を行うために、登場人物の質問に答える形で伝えたいことを考えていくYour Planが新設され、主体的な学びを深められるスモールステップの単元構成となっております。また、多彩なデジタルコンテンツがあり、モデル映像で児童が学習のイメージを明確に持つことができ、言語活動の様子を見ることができます。別冊の「Picture Dictionary」は、A4版に大判化し、罫線も工夫され書き込みやすく、単語が紙面にない場合はDigital Dictionaryから探したり、教科書のカード欄に記入して自分だけのオリジナル絵辞書を作ったりすることができます。以上のことから、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」を選定いたしました。

次に、道徳について報告いたします。道徳は6社の教科用図書が検定本となっております。採択地区協議会では、東京書籍の「新編 新しい道徳」を選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、各社の教科用図書について、その特色と選定理由についてご説明させていただきます。最初に、教育出版です。「いじめ」「情報モラル」などを、全ての学年で重点テーマとしており、ユニット構成にしております。教材文の最後には発問例があり、児童が学習の流れを理解し、考えを深められるように工夫されています。続きまして、光村図書です。「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」などの現代的諸課題について、教材とコラムで構成し、ユニット学習を設定しています。教材を通して何を考えるのかがわかるよう、教材の冒頭に学びのテーマが提示されています。また、段階的に考えを深められるよう、発問を構成しております。続きまして、日本文教出版です。「いじめの防止」を重点テーマとして直接的・間接的に扱った教材をユニットとして構成しています。各教材の冒頭に、リード文と内容にかかわる問いかけがあり、終末には、考えを深め、これからは生かしていくための発問例があります。続きまして、光文書院です。「いじめ」、「命」を全学年で重点主題として設定しており、連続して複数時間構成で扱うことができるよう、構成を工夫しています。各教材の冒頭に、主題を明記し考える視点を提示し、終末には考えを促す発問や発展的な発問が提示されております。続きまして、学研です。最重点テーマを「いのち」とし、「多様性」「キャリア」など、複数教材を通じて考えを深めていけるように工夫されています。冒頭には、児童が読みたくなるフレーズを提示しています。終末には自己を見つめ、考えを深めることができる発問が工夫されています。最後に、選定されました、東京書籍です。選

定の理由といたしましては、「いじめ」「生命」「情報モラル」などの現代的諸課題を集中的に取り組めるように、全ての学年においてユニットが設定されています。教材文の特徴としては、冒頭は情報量を減らし、先入観なく読むことができるよう配慮されています。また、教材の終末には発問例が2つあり、これを活用することで、考えを深める学習を実現することができるようになっております。以上のことから、東京書籍の「新編 新しい道徳」を選定いたしました。

続いて、特別支援教育について報告いたします。採択地区協議会におきましては、令和6年度使用の学校教育法附則第9条の規定による一般図書につきましては、新規で選定対象となりました4冊を中心に協議され、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書、学校教育法附則第9条の規定による一般図書、点字版教科書及び拡大教科書の全てを選定いたしました。研究調査委員の報告と採択地区協議会委員で協議した結果を踏まえ、学校教育法附則第9条の規定による一般図書の新規本4冊について、報告させていただきます。1冊目は、生活・社会で、ひさかたが発行している「どうなってるの？からだのなか」です。体の中の臓器などがやさしいタッチで描かれています。各器官のイラストをめくると、解説と新しいイラストが出てきて、体の働きについて楽しく学ぶことができます。2冊目は、職業・家庭で、旺文社が発行している「学校では教えてくれない大切なこと(9)ルールとマナー」です。全編カラーの漫画で、挨拶や身だしなみなどの基本的なマナーや、インターネットの使い方などが、わかりやすく描かれています。3冊目は、外国語で東京書店が発行している「わくわく音あそびえほんえいごにほんごおうたえほん」です。子どもたちに馴染みのある曲が英語版で13曲、日本語版で12曲収録され、歌を通して楽しく英語に親しむことができます。全曲に歌詞カードがついていて、英語の歌には平仮名のふり仮名と日本語訳もついています。4冊目は、外国語で東京書店が発行している「わくわく音あそびえほん新装版 にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん」です。平仮名、アルファベット、数、色などの文字や言葉を、音声で学ぶことができます。タブレットは子どもでも簡単に取り外しができます。録音、再生、クイズなどがあり、飽きずに長く楽しめるよう工夫されています。以上、新規の4冊について説明をさせていただきました。特別支援教育では、使用する児童生徒の実態が多様であることから、各学校で児童生徒の実態に応じた選択を可能とするため、令和6年度に特別支援学校並びに小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書、学校教育法附則第9条の規定による一般図書新規4冊を含む137冊、点字版教科書及び拡大教科書のすべてを、一括して選定いたしましたことを報告いたします。

○山元幸恵委員

ありがとうございます。では、質疑に入ります。質疑ございますか。田中委員お願いいたします。

○田中大介委員

ご説明をありがとうございます。私からは、1点だけ、道徳に関して質問いたします。御説明の中で「情報モラル」について、道徳の分野で取り扱っていることがわかりました。各社の特色の主要テーマで、「いのち」以外で「情報モラル」

に触れていないところもありましたが、各社の取り扱いについて網羅的にどのようになっているのかご説明願います。

○山元幸恵委員

願います。

○指導課指導主事（道徳）

道徳担当です。ご質問についてお答えいたします。「情報モラル」に関する指導については、各社ともに1年生から6年生まで全ての学年で取り扱われています。中でも東京書籍は、ICT端末の扱い方や、オンラインゲームの遊び方など、身近な内容を扱ったものや、依存症、著作権、情報リテラシーなどについて、情報化社会の生き方を考える学習が取り上げられていました。また、1年生では現在学習でも使っているタブレットを教材として、ルールやマナーを考えさせる内容となっております。以上でございます。

○山元幸恵委員

説明が終わりました。いかがでしょうか。

○田中大介委員

ありがとうございました。

○山元幸恵委員

ほかにございますか。広瀬委員お願いいたします。

○広瀬由紀委員

外国語と特別支援についてそれぞれ伺いたいことがあるのですが、まず、外国語から伺います。小学校で外国語が導入されて、児童にとっては初めての外国語、英語となるので、楽しく学習や言語活動ができると良いと思っているのですが、各社の違いや、今回、東京書籍を選定した理由として、どのような要素があったのかお聞かせいただければと思います。

○山元幸恵委員

願います。

○指導課指導主事（外国語）

外国語担当です。ご質問についてお答えいたします。まず、外国語科の学習指導要領の目標では、英語の音声に慣れ親しみ、実際に活用できる基本的な技能を身につけるようにすること、目的や状況・場面に応じて、自分の考えや気持ちを伝えあうことができる力を養うこと、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目標としているため、どの教科書会社も言語を用いた活動について意識しています。そのため、特に各教科書会社で大きな違いはございませんが、今回、選定されました東京書籍「NEW HORIZON Elementary」については、言語活動の様子を、まず最初に動画で見ることができると、児童が学習のゴールのイメージを明確に持つことができることから、今回の選定理由の一つとなりました。以上になります。

○山元幸恵委員

よろしいでしょうか。もう1つの質問をお願いします。

○広瀬由紀委員

では、特別支援について質問いたします。今回、新規本として4冊選定されたと

ということですが、使う児童生徒は、特別支援学校の児童生徒なのか、特別支援学級の児童生徒なのか、それとも両方なのか、使用の対象についてお聞かせいただければと思います。お願いいたします。

○山元幸恵委員

回答をお願いします。

○指導課指導主事（特別支援教育）

特別支援教育担当です。「どうなってるの？からだのなか」は、教科が生活・社会なので、特別支援学校の小学部・中学部の児童生徒が対象となります。また、小学校・中学校の特別支援学級で特別な教育課程を編成し、教科を知的の特別支援学校の教科に変えている児童生徒も使用することができます。「学校では教えてくれない大切なこと(9)ルールとマナー」は、教科が職業・家庭なので、職業・家庭が教育課程にあります特別支援学校中学部の生徒と、中学校特別支援学級で特別な教育課程を設定している生徒が使用できます。外国語は小学校5年生から学習が始まり、教科書が給与されますので、「わくわく音あそびえほん」の2冊は、小学校特別支援学級の5・6年生、中学校特別支援学級の全学年及び特別支援学校中学部で外国語科を教育課程に設定している生徒が使用対象となります。以上でございます。

○山元幸恵委員

いかがでしょうか。よろしいですか。それではほかにないようですので、続けて、令和6年度使用中学校用教科用図書についての説明をお願いいたします。

○指導課長

続きまして、中学校用教科用図書について報告をいたします。表2をご覧ください。令和5年度における中学校用教科用図書の採択につきましては、学校教育法附則第9条図書を使用する場合を除き、基本的に令和4年度に採択したものと同一の教科用図書を採択することとなります。葛南西部採択地区協議会では、研究調査委員の調査を踏まえて慎重に、そして適正に中学校用教科用図書を選定し、浦安市、市川市の教育委員会会議において採択されておりますことを申し添えます。これらのことから、令和6年度使用中学校用教科用図書につきましては、表2のとおり選定されましたことをご報告いたします。

○山元幸恵委員

以上で説明は終わりましたが、質疑はございますでしょうか。では、質疑がないようですので、議案第27号を採決いたします。本案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○山元幸恵委員

挙手全員であります。本案は原案のとおり可決いたしました。本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。それでは、教育長お願いいたします。

○教育長

かしこまりました。それでは、これをもちまして、令和5年8月定例教育委員会

を閉会いたします。

(午後3時10分閉会)